

徐々に暖かくなり、現地では植物も芽生えはじめてきました。

今年は、昨年よりも活動範囲を広げ活動を実施しています。

また、活動成果が現れるころに、植物観察会などを開催し、皆さんにも現地を楽しく見ていただく機会を設けたいと考えております。



《 湿地再生・植生管理部会の今後の活動 》

湿地再生・植生管理部会では、今年は、昨年実施したミズアオイの再生活動のほかに、新たに3つの活動を行うこととなりました。活動内容は以下の通りです。

■ミズアオイの再生活動

今年も昨年に引き続き、ミズアオイの再生活動を行います。この再生活動は、攪乱時期をずらした3つの試験区を設け、攪乱時期の変化により、ミズアオイの発芽、開花にどのような影響を及ぼすか調べその方法を確立させることを目的としています。

ミズアオイの再生活動は、2月と3月に部会員による、攪乱や除根除石作業が行われています。



■刈払いによるヨシ群落の生物多様性実験

この実験では、3つの試験区と1つの対象区を設け、刈り取りの時期の違いによってヨシやオギの草丈や密度、重量がどのように変わるかまた、その結果、他の植物の発芽、成長にどのような影響を与えるかを調べていきます。

試験箇所の草刈については、静岡土木事務所が実施し、試験区の設置と周辺の刈り取り作業を1月に部会で実施しました。



■コツブヌマハリイの保全活動

植生遷移により、県の絶滅危惧種にも指定されているコツブヌマハリイの群落規模が小さくなっていることから、その保全活動を行うこととなりました。

部会では、2月にセイタカアワダチソウの抜き取り作業と、競合する植物の刈り取り作業や、生育地の水質や地盤硬度の測定なども実施しました。



■ハスの再生活動

麻機遊水地第3工区では、池沼部において以前は多くのハスを見ることができましたが、近年その数が減少し、また、ハスを見るのを楽しみに遊水地を訪れる方も多いことから、その保全活動を行うこととなりました。

ハスの再生活動は、4月から実施する予定で、ハスの植え込み作業やハスの減少した原因なども調べる予定となっています。



【麻機遊水地の自然再生に関する活動の支援、参加を募集しております】静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomoegawa/>